

5-11 2001年4月3日の静岡県中部で発生した地震(M=5.3)前後の地殻変動
Crustal Deformation observed before and after the Central Shizuoka
prefecture earthquake (M=5.3, April 3, 2001).

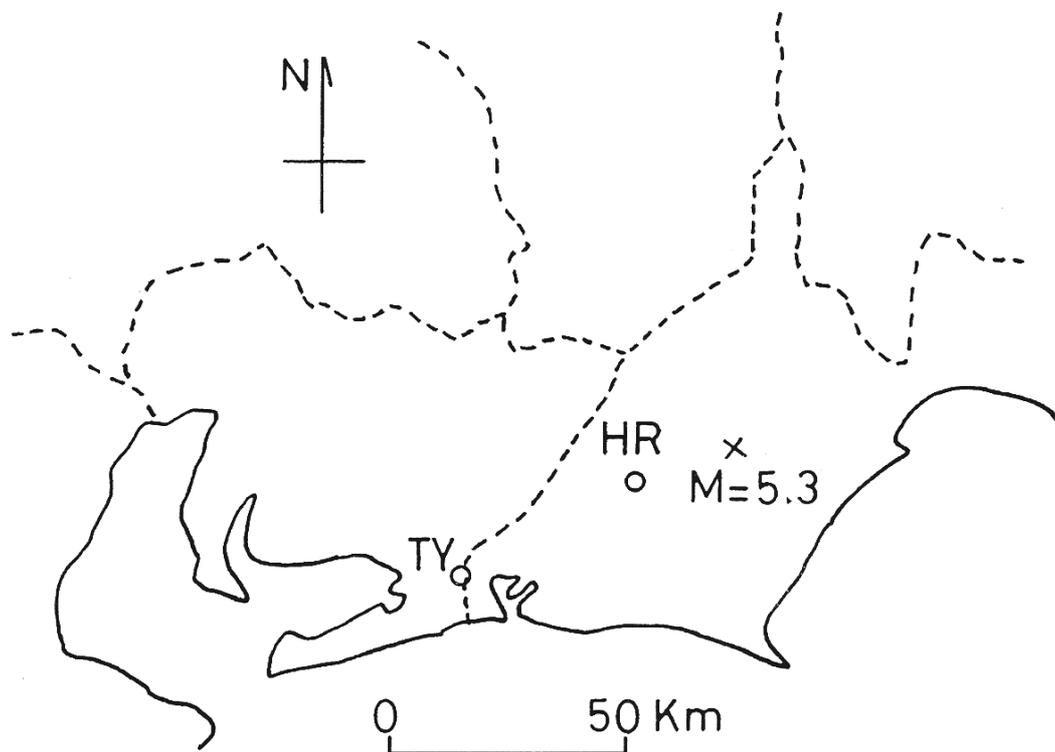
名古屋大学理学研究科
Graduate School of Science, Nagoya University

2001年4月3日に静岡県中部でM=5.3の地震が発生した。この地震は、名古屋大学理学研究科の東海地殻活動総合観測線の南端部に近い位置に発生した。震央は、名古屋大学理学研究科が観測している唯一のボアホール孔である春野観測点の近くであった。

第2図に春野観測点における地震前後の歪み変化と傾斜変化を示す。最下部に示した傾斜変化の記録に見られる、地震発生の5日程前の大きな異常な変動は、磁気嵐の影響である。同様な影響は、歪み計にも見られるし、別の時間にも見られる。

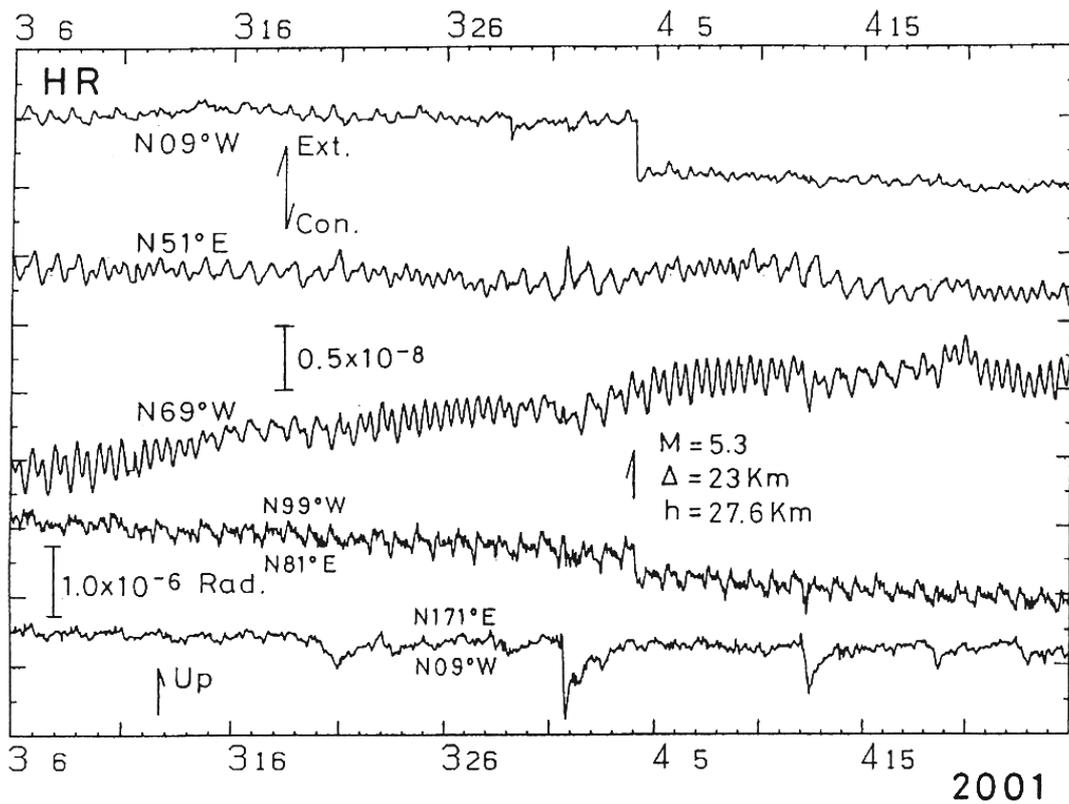
地震に伴うストレインステップと僅かであるが余効変化が見られるが、地震の前兆と思われる異常な変化は特に見られなかった。

第3図に豊橋観測点における地震前後の歪み変化を示す。震央から遠方であることもあり、地震前後では特別な異常な変化は見られなかった。



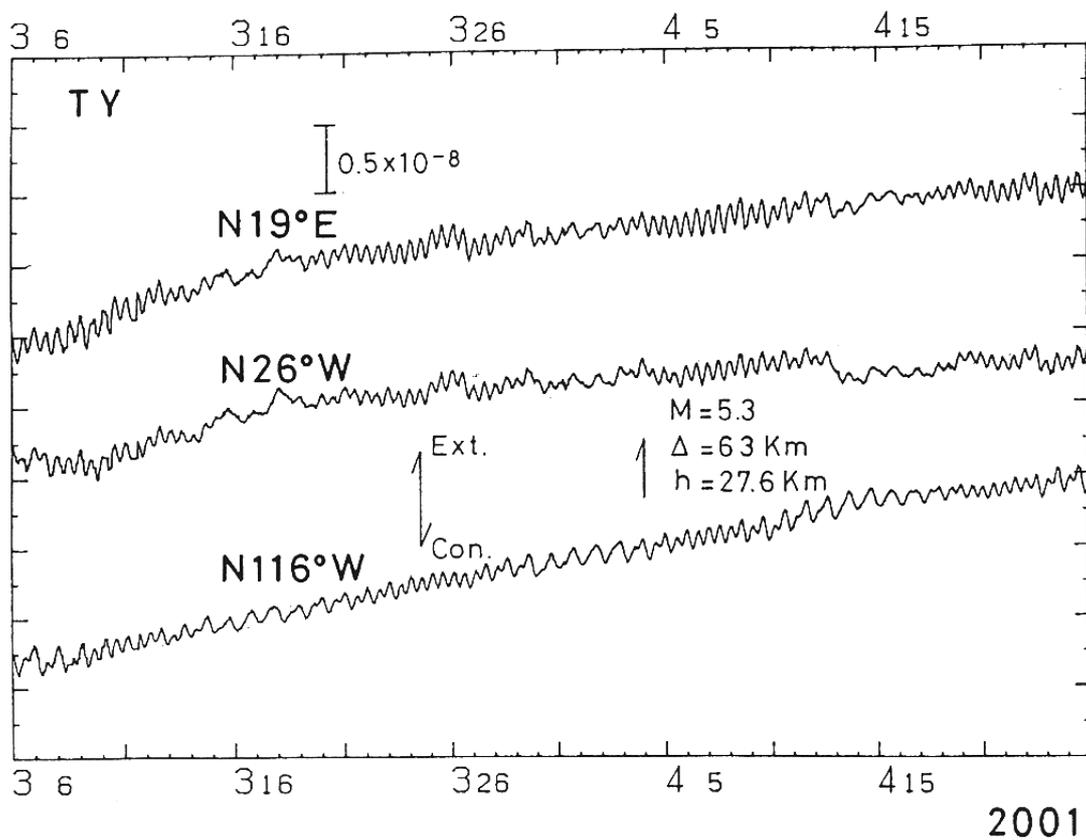
第1図 地震の震央と観測点の位置。

Fig.1 Location of observation stations and the epicenter.



第2図 春野で観測された地震前後の歪み変化と傾斜変化（ボアホール）。

Fig.2 Hourly plots of crustal strain and tilt before and after the earthquake at Haruno.



第3図 豊橋で観測された地震前後の歪み変化（石英管伸縮計）。

Fig.3 Hourly plots of crustal strain before and after the earthquake at Toyohashi.